

# 目の教室だより

6月号

練馬区立中村西小学校目の教室

03-3990-4254

(目の教室直通)

## 梅雨入り



アジサイの花が色づく時季になりました。今年は、しとしと降るというよりも、降る時はまとめて降る「メリハリ梅雨」のようです。どんな時でも、やる時はやる！と決めて行うのは良いことです。目の教室に通う子たちにも、活動を見通して自ら行動できるよう指導を重ねていきたいと思います。

目の教室で学習しているものの中に「目と手の協応」というものがあります。目で捉えた視覚情報(位置や形など)を脳で処理し、それに応じて手や指先を滑らかに動かす能力。簡単に言うと視覚の働きと体の動きを連動させること。日常生活の動作、学習・作業、スポーツ・遊び等、様々な場面で必要になる力です。分かりやすいのは箸でしょうか。『食べ物を目で見て、お箸で正確につまんで口へ運ぶ。』という動作のことです。

同じように、ハサミで紙に描かれた線の上を正確に切る。ボタンを留める。キーボードでタイピングをする。折り紙、あやとり、塗り絵、点つなぎ、お手玉・おはじき・ボール遊び、黒板の文字を見てノートに書き写す等。多くのものが目と手の協応です。これは経験を重ねるほど感覚が養われていきます。目の教室でも繰り返し学習しています。

今月は梅雨をモチーフにした壁面装飾にも、ハサミやのり、クレヨン、折り紙や型取りを活用しながら、工夫をこらして取り組みました。



29日(月)には、在籍校の先生方に向けた学習会があります。

7月11日(土)には、開進第三中学校にて中学弱視学級通級説明会があります。ぜひご参加ください。